

hand in hand

大曲支援学校
地域支援部
令和6年9月27日

園研修の紹介

特別支援教育アドバイザー おおさわ たかこ 大沢 貴子



昨年度末から大仙市教育保育アドバイザーや大曲支援学校地域支援部と園研修の在り方を見直し、今年度から園主体の研修を提案させていただきました。既に3園で実施しておりますが、概ね「いろいろな意見を聞くことができてよかった」「やってみようと思った」などうれしい感想をいただいております。

主な研修の流れは次の通りです。

- ① 保育参観、対象幼児について個別アドバイス(支援の仕方、クラス運営など)
- ② 研修会Ⅰ グループトーク(進行:地域支援部)
→園の先生方が数名のグループになり、事例対象児の行動の背景を探り、3か月後のめざす姿や、よかった支援を基に具体的な支援策を考える。
- ③ 研修会Ⅱ 講話・講評(大沢)
→各園の研修ニーズや事前の質問事項に基づく講話、グループトークに対する講評、園内支援体制や個別の教育支援計画への助言 など

グループトークは、「〇〇をしたらどうか」、「△△があればできるのでは」など複数の目で支援策を検討するよさが見られます。チームで対応することで子どもの成長が支えられ、よかった支援の積み重ねが小学校へ引き継がれていくことと思います。

新しい園研修を、実施してみませんか。

秋田県では、障害のある幼児児童生徒の教育支援を円滑に進めるために、県内各地区に秋田県特別支援教育地域センターを設置しています。

対象は、大仙市、美郷町の幼児児童生徒、保護者及び教職員で、障害のある幼児に対する早期からの就学相談や、特別な支援を必要とする児童生徒への教育相談等を行っています。直接出掛けて、子どもさんを観察して協議したり、電話等での相談をしたりできます。

申し込みは随時受け付けておりますが、不在の場合も多いかと思っております。できるだけ、折り返しで連絡をするようにしますので、気軽に連絡をしてください。

大仙市立花館小学校内 特別支援教育地域センター

連絡先:0187-63-1022(直通ではありません)

週3回~火・木・金の午前9時から午後3時45分まで



校舎奥に見える福伝山

教諭(兼)教育専門監 おおかわ やすひろ
大川 康博

子どもに伝わるほめ方

能代市教育委員会の特別支援教育統括コーディネーター加賀谷勝氏が、この度、『『保護者応援ガイド』子どもは、笑顔の数だけ幸せになれる～温かい言葉を、笑顔で～』という冊子を作成しました。その中に書かれてある「ほめ方」について紹介します。



【ほめ方のタイミング】

- ①60秒ルール：行動の変容は、60秒内の対応で決まるので、行動の直後に具体的にほめる。
- ②25%ルール：結果よりも努力している過程に注目して、その行動を繰り返し言葉でほめる。
- ③3回ルール：人は3回ほめられるとその気になるので、複数の人がほめる。
- ④その子に応じたほめ方：優しい表情やハイタッチ、グーサイン等、言葉以外の方法でほめる。

ほめることは、相手を肯定的に見る、あなたに関心があるというメッセージを伝える行為、喜ぶ相手を見てまたほめたくくなります。ほめられると無条件にうれしい、またほめられたい気持ちになる相手に好意を抱くこととなります。ほめる・ほめられるは、良好な人間関係を構築することにつながります。

子育てに悩みを抱える保護者のみなさんだけでなく、園や学校職員にとっても分かりやすく、参考になる情報が記載されています。子どもの笑顔を増やすためにも、ぜひ、目を通していただければと思います。



関連ファイルは、能代市ホームページからダウンロードできます。

相談・見学等の希望がありましたら、御連絡ください。

秋田県立大曲支援学校

教 頭：北島 英樹（きたじま ひでき） 川越 真紀子（かわごえ まきこ）
教育専門監：大川 康博（おおかわ やすひろ）
地域支援部主任：丹波 舞子（たんば まいこ）
特別支援教育コーディネーター：熊谷 道大（くまがい みちひろ）青木 真知子（あおき まちこ）
特別支援教育アドバイザー：大沢 貴子（おおさわ たかこ）（大仙市立花館小学校内）
〒014-0072 秋田県大仙市大曲西根字下成沢122
電話：0187-68-4123 FAX：0187-68-4122

部報「hand in hand」や依頼状の様式等は、大曲支援学校HPからダウンロードできます。